

〈資料編〉

1 上位計画

1 第五次守口市総合基本計画（H23.3）

(1) 将来都市像 「育つ・にぎわう・響きあう 人と心が集うまち 守口」

(2) 基本目標

- ① 学びとつながりを深め、豊かな心と生きる力が育つまち
- ② 一人ひとりの人権が尊重され、健康でいきいきと安心して暮らせるまち
- ③ 交通の便の良さを活かした、にぎわいと活力あふれるまち
- ④ 自然環境と調和し共生する安全・安心なまち

(3) 将来都市構造

① 都市核・都市軸に関する方針

京阪守口市駅・地下鉄守口駅周辺で、商業・業務系機能に加え、行政文化機能が集積する「守口都市核」においては、引き続き、市の玄関口に相応しい都市基盤の整備に努めるとともに、ユニバーサルデザインの推進にも取り組んでいきます。

大阪モノレール大日駅・地下鉄大日駅周辺で商業・業務・居住系機能が集積する「大日都市核」においては、市域圏と広域圏の交流拠点としてさらに魅力ある拠点の形成をめざします。

これら二つの都市核を貫く「守口都市軸」沿道では、土地の高度利用を促進するとともに、大阪府の方針に基づき、緑化を中心とする景観形成を図ります。また、大阪中央環状線や国道479号などの広域幹線道路を広域軸として位置づけ、沿道環境の改善を要請します。

② 地域核・地域軸に関する方針

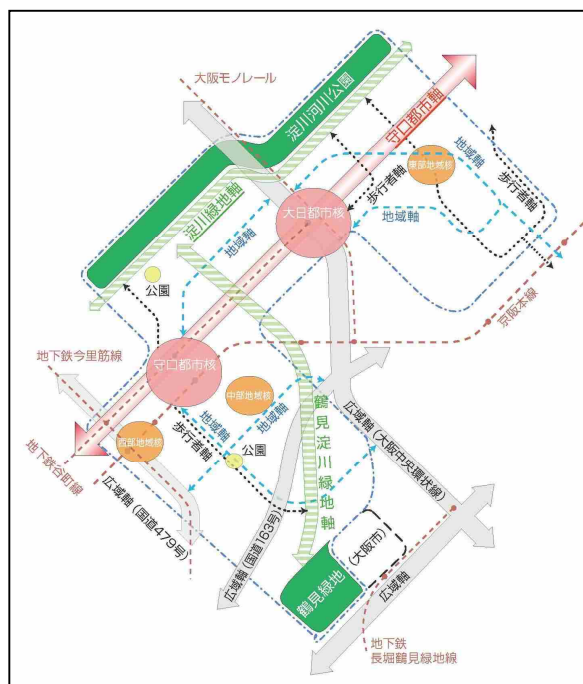
日常生活の拠点となる3つの地域核（西部地域核、中部地域核、東部地域核）においては、地域密着型の商業などの集積地として活性化を図り、それぞれの地域にふさわしいまちづくりを進めます。また、都市計画道路を主体として、都市軸や広域軸に連絡する道路を地域軸として整備を図ります。

③ 災害に強い都市基盤の整備に関する方針

近い将来に高い確率で発生が予想されている東南海・南海地震などに備え、災害に強いまちづくりを推進するため、市域全域について、道路や公園などの都市基盤の強化に努め、良好な住環境を創出していきます。また、防災機能を強化するため、都市軸や広域軸の整備を促進することにより、安全・安心な生活の実現をめざします。

④ 地域資源間の回遊性の向上に関する方針

本市には淀川河川公園、鶴見緑地、西三荘ゆとり道など緑と水に親しむ空間や多くの歴史的資源、文化的資源があります。地域軸や歩行者系の動線である歩行者軸によるネットワークを活かすことにより、これらの地域資源間の回遊性を高め、資源の魅力、地域の魅力を発信し、にぎわいを創出します。



2 守口市都市計画マスタープラン（H24.9）

(1) 将来都市像 「育つ・にぎわう・響きあう 人と心が集うまち 守口」

(2) 都市づくりの基本方針

- ①にぎわいと活力のある都市づくり
- ②快適な暮らしを実現する都市づくり
- ③人と環境にやさしい都市づくり
- ④災害に強い都市づくり
- ⑤市民との協働による都市づくり

(3) 将来都市構造

●拠点の形成方針

守口都市核

- ・京阪守口市駅・地下鉄守口駅周辺の「守口都市核」は、本市の中心部として比較的早くに形成された拠点で、行政・文化機能に加え、商業・業務系機能が集積しています。「守口都市核」においては、施設の老朽化等にも対応しながら、引き続き、市の玄関口にふさわしい都市基盤の再整備・更新に努めるとともに、ユニバーサルデザイン化を推進します。

●都市軸の形成方針

1) 守口都市軸

【国道1号、京都守口線】

- ・二つの都市核を貫く「守口都市軸」は、交通軸であるだけでなく、本市の都市機能が集積する都市機能軸ともいえます。「守口都市軸」沿道では、土地の高度利用を促進するとともに、緑化を中心とする景観形成を図ります。

2) 地域軸

- ・府道北大日竜田線、豊秀松月線（未着手）等の都市計画道路や馬場菊水線、河原菊水線、府道八尾茨木線等の既存ストックを活用し、「守口都市軸」や「広域軸」に連絡する道路を市内の地域間の交流を支える「地域軸」とします。

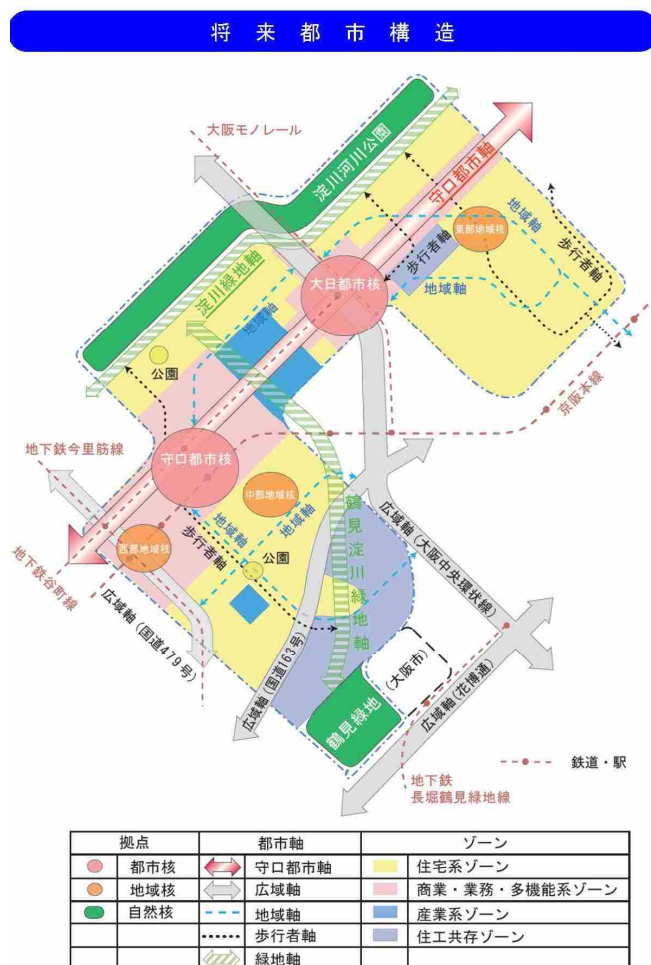
●ゾーン（土地利用の基本的な枠組み）の形成方針

1) 住宅系ゾーン

- ・「住宅系ゾーン」については、市街地の形成過程や道路等の基盤整備状況、建物の高さや構造など各地区の状況を考慮しながら、住宅を中心とするゾーンとして、それぞれ良好な居住環境の形成に努めます。

2) 商業・業務・多機能系ゾーン

- ・「商業・業務・多機能系ゾーン」については、その規模・立地・機能と都市の骨格となる都市核や都市軸を考慮しながら、行政・文化・商業・業務・都市型居住等の機能の集積した、中心部にふさわしい土地利用を誘導します。



3 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略（H28.3）

【守口創生の基本理念】

安心・快適・便利に子育てできるまち・守口

基本目標1 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

[取組の基本的方向]

- ①結婚したいと思う若い世代の活動を支援する
- ②若い世代の妊娠・出産を支援する
- ③若い世代の子育てを支援する
- ④魅力ある学校教育を提供する
- ⑤安心して子どもを預けることができる保育サービスを提供する

基本目標2 安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする

[取組の基本的方向]

- ①若い世代が魅力を感じる住宅の供給促進と市内での住み替えを促進する
- ②若い世代が安心して暮らせる防犯まちづくりを強化する
- ③子育て親子が安心・快適に出かけられるまちづくりを推進する

基本目標3 様々なしごとの場を身近で提供する

[取組の基本的方向]

- ①企業のビジネスの発展を支援する
- ②新たな雇用を生み出す創業を支援する
- ③ワーク・ライフ・バランスをとりやすい職場を増やす
- ④若い世代の就業を支援する

基本目標4 守口市の魅力を高め・発信し、守口市を誇りに思う市民を増やす

[取組の基本的方向]

- ①守口市の魅力を発信する
- ②守口市の魅力に出会う機会をつくる
- ③守口市の元気拠点を整備する

2 これまでの歩み

年表

年 代		出 来 事	
1596	文禄 5	成長期	豊臣秀吉が文禄堤を整備 大坂と京都を結ぶ京街道をつくる
1616	元和 2		守口宿が伏見・淀・枚方とともに宿駅（57次）東海道に加わる
1881	明治 14		守口が大阪府に編入
1910	明治 43		京阪電車開通
1935	昭和 10		（パナソニックの前身、松下電器産業株式会社が守口に本社設立（登記上は門真市））
1938	昭和 13		大阪市電京阪本通1丁目まで開通
1946	昭和 21		守口町・三郷町が合併し守口市となる
1947	昭和 22		（三洋電機の前身、三洋電機製作所として創業、2年後の24年に株式会社三洋電機株式会社設立）
1951	昭和 26		守口市庁舎（旧庁舎）完成
1955	昭和 30		発展期
1966	昭和 41	市民会館完成	
1969	昭和 44	大阪市電守口線廃止される	
1971	昭和 46	中央公民館・教育文化会館完成	
1977	昭和 52	大阪市営地下鉄谷町線守口まで開通	
1982	昭和 57	京阪本線連続立体交差化事業完成	
1983	昭和 58	大阪市営地下鉄谷町線大日まで延伸	
1984	昭和 59	市民体育館開設	
1985	昭和 60	河原地区第一種市街地再開発事業竣工	
1990	平成 2	成熟・変革期	
1993	平成 5		エフエムもりぐち開局
1994	平成 6		国際交流センター・教育センター開設
1997	平成 9		新市民保健センター開館
1997	平成 9		大阪モノレール大日まで延伸
2006	平成 18		大日再整備 商業施設オープン
2006	平成 18		守口小学校と土居小学校が統合、土居小学校閉校
2014	平成 26		さつきホールもりぐち（市民会館）閉館
2016	平成 28		守口市庁舎移転 現在に至る



京阪守口市駅



(旧)庁舎完成式典(昭和26年)



国道1号八島交差点付近



桜通商店街(昭和28年)



守口市駅ロータリー(昭和39年)



第1回守口市市民まつり(昭和61年)



大日再整備(平成18年)



新市庁舎(平成28年)

3 アンケート調査結果

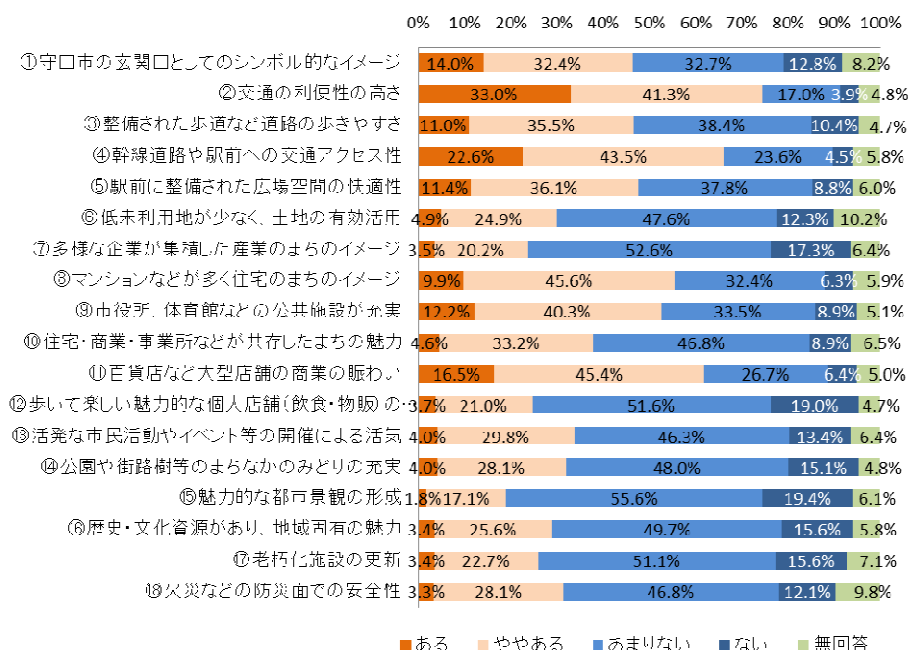
1 市民アンケート調査結果（その1）

- ・調査期間
平成 28 年 8 月 17 日（水）～8 月 31 日（水）
- ・調査対象
守口市に在住する 18 歳以上の市民を対象（無作為に 3,000 名を抽出）
- ・配布回収数
回収数：1, 176 件（回収率 39.2%）

（1）都市核周辺の現在のイメージ

守口都市核周辺のイメージは、「交通の利便性やアクセス性がよい」「大型店舗の商業の賑わいがある」「住宅のまちのイメージ」「公共施設が充実」などについて評価が高く、「魅力的な都市景観」「歩いて楽しい魅力的な個人店舗の立地」「多様な企業が集積した産業のまちのイメージ」などについて評価が低くなっています。

- 「ある」または「ややある」に回答されている割合が多い順に（割合は無回答除く）
 - ①交通の利便性の高さ（74.3%）
 - ②幹線道路や駅前への交通アクセス性（66.1%）
 - ③百貨店など大型店舗の商業の賑わい（61.9%）
 - ④マンションなどが多く住宅のまちのイメージ（55.5%）
 - ⑤市役所、体育館などの公共施設が充実（52.5%）
- 「ない」または「あまりない」に回答されている割合が多い順に（割合は無回答除く）
 - ①魅力的な都市景観の形成（75.0%）
 - ②歩いて楽しい魅力的な個人店舗（飲食・物販）の立地（70.6%）
 - ③多様な企業が集積した産業のまちのイメージ（69.9%）
 - ④老朽化施設の更新（66.7%）
 - ⑤歴史・文化資源があり、地域固有の魅力（65.3%）



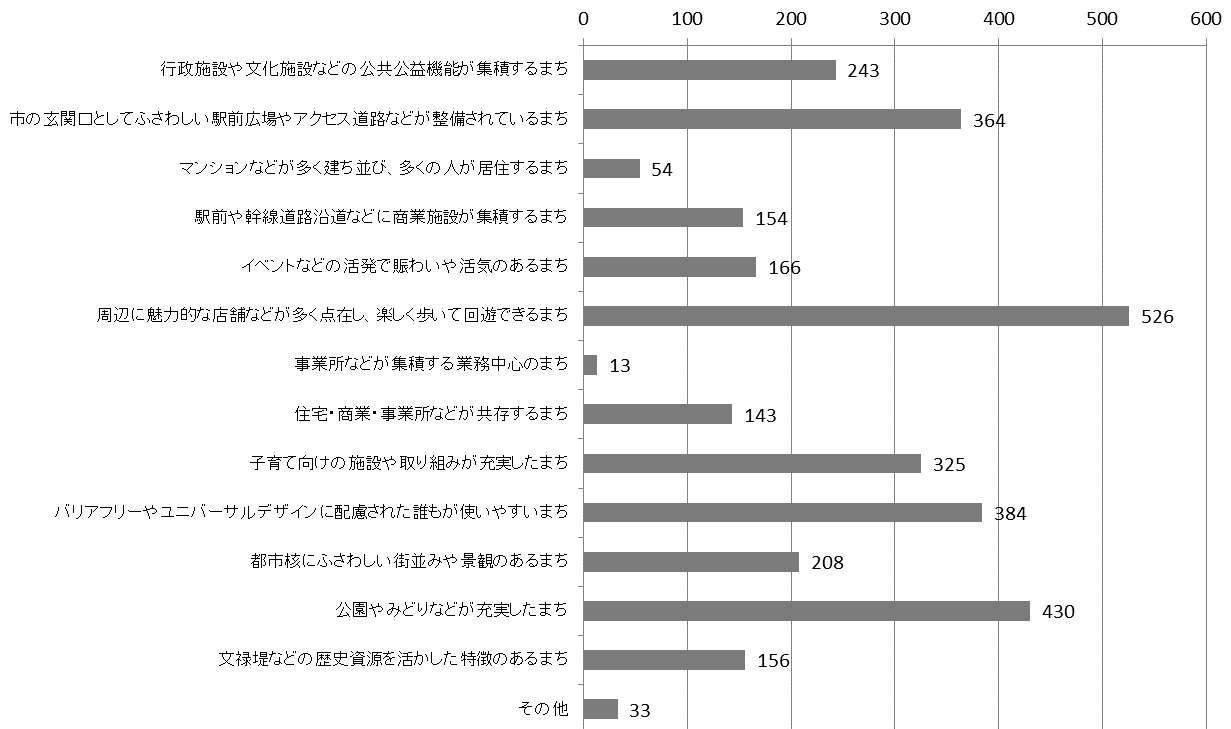
(2) 都市核周辺の将来イメージ

守口都市核周辺の目指すべく将来イメージは、「楽しく歩いて回遊できるまち」「公園やみどりなどが充実したまち」「バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮された誰もが使いやすいまち」などが多くなっています。

●目指していくべきイメージとしては、回答されている割合が多い順に

- ①周辺に魅力的な店舗などが多く点在し、楽しく歩いて回遊できるまち（526件、44.7%）
- ②公園やみどりなどが充実したまち（430件、36.6%）
- ③バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮された誰もが使いやすいまち（384件、32.7%）
- ④市の玄関口としてふさわしい駅前広場やアクセス道路などが整備されているまち（364件、31.0%）
- ⑤子育て向けの施設や取り組みが充実したまち（325件、27.6%）
- ⑥都市核にふさわしい街並みや景観のあるまち（208件、17.7%）

(N=1,176)



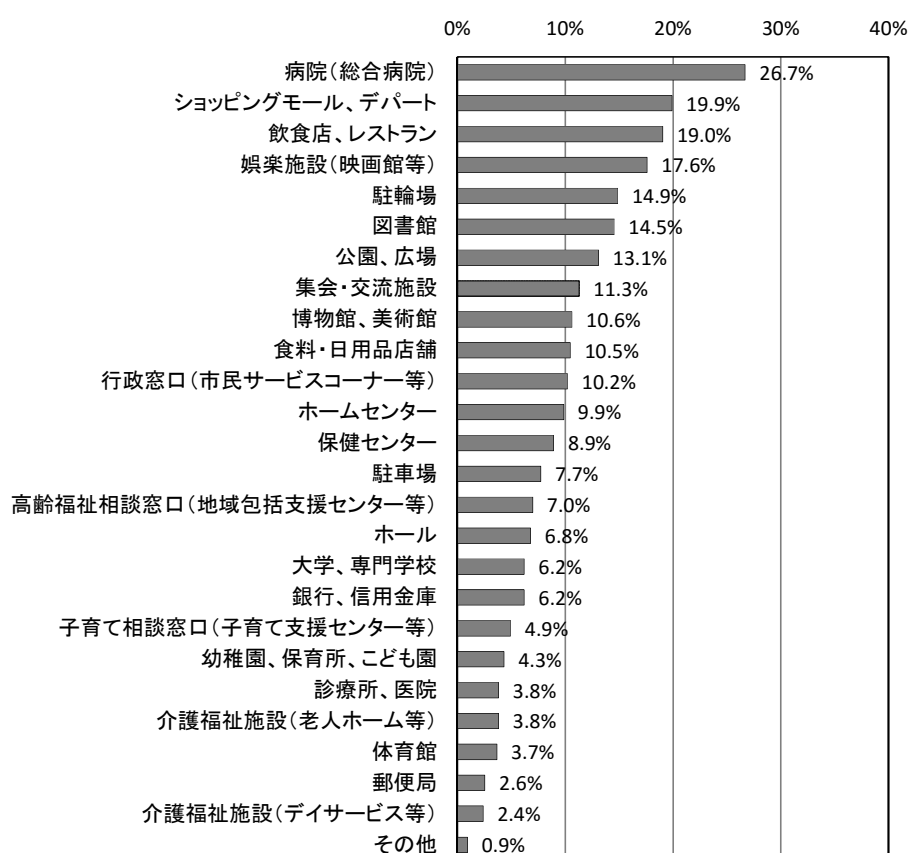
(3) 都市核周辺で充実させてほしい施設

守口都市核周辺で充実させてほしい施設は、「病院」「ショッピングモール、デパート」「飲食店、レストラン」などが多い。その他、年齢別にみると、若年者層には「図書館」、高齢者層には、「集会・交流施設」などが多くあがっています。

●上記の問いのうち、「守口都市核周辺」について充実させたい施設は、回答されている割合が多い順に

- ①病院（総合病院）（26.7%）
- ②ショッピングモール、デパート（19.9%）
- ③飲食店、レストラン（19.0%）
- ④娯楽施設（映画館等）（17.6%）
- ⑤駐輪場（14.9%）
- ⑥図書館（14.5%）

(N=1,176)



2 市民アンケート調査結果（その2）

今回実施したアンケート調査に加え、以下の既往アンケート調査結果を整理します。

- ① 守口市のまちづくりに関する市民アンケート（守口市第五次総合基本計画）
（平成 20 年度実施 18 歳以上の市民対象 7,000 名配布 回収率 49.1%）
- ② 守口市都市計画マスタープラン策定業務住民意向アンケート調査
（平成 22 年度 18 歳以上の市民対象 7,000 名配布 回収率 41.4%）
- ③ 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に関するアンケート調査
（平成 27 年度 29～49 歳市民及び市外転居者 4,000 名 回収率 24.3%）

項目	内容	アンケート調査
○守口市のイメージ	「交通が便利」が最も多く、次いで「買い物など日常生活に便利」、「大阪市に近い」が多い。	③
○守口市への不満	転入者、転出者ともに「治安がよくない」、「自然が少ない」、「まちのイメージがよくない」が多い。	③
○市の特性・誇り	「高速道路や環状線・国道、地下鉄・モノレールなどの交通環境」が最も多く、次いで「大都市近郊の地理的条件」「ショッピングセンターや百貨店などの商業施設」が多い。	①
○将来像	「安全・安心」「健康・福祉」がとくに多く、「自然・環境」「子育て・教育」などが続いて多い。	①
○まちづくりで重視すべきこと	「高齢者、子ども、身体の不自由な人など誰もが歩きやすいまちづくり」「緑や景観に配慮したまちづくり」「地震・火災・洪水などに強いまちづくり」の順に多い。	②
○充実してほしい施設・サービス	「高齢者などの介護・福祉のための施設やサービス」「公園・広場などのオープンスペース」「食料品や日用品を販売する店舗」の順に多い。	②

4 各種関係団体等意見交換結果

各種関係団体等として、庁内会議のほか、都市核周辺の主な施設管理者、学識経験者、市議会にご協力いただき、守口都市核周辺の今後に向けて望ましいと考える方向性や具体的な方策などについて自由に意見交換を行いました。キーワードを中心にその概要を以下に整理します。

キーワード	主な意見
1. 都市イメージ・魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・高級感のあるイメージを取り戻す ・いろんなものが混ざることによって魅力や楽しさが出る ・悪いイメージを払拭し、新しいイメージをつくっていくこと ・市内外それぞれ魅力を感じるよう、場所に依って使い分けることも必要 ・下町というイメージを活かしていく ・まちをオシャレにして、若い女性が来やすく楽しめるように ・普段、日常が好まれるようなまちを目指すことが重要 ・ワクワク感やオシャレ感が感じられるまちであることが重要 ・女性目線で、行ってみたいと思えるようなまちを目指すべき
2. 賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前に滞在している人が少ない ・人中心のまちにしてほしい ・フラッと立ち寄れる施設 ・体験と交流でまちに付加価値が生まれる ・女性が楽しめて喜ぶまちを目指すという視点 ・駅前にも子どもがたまる場所 ・古い民家は安く賃貸ができるので、貸し手と借り手のつながりが重要 ・カフェや休憩できる場所を創出することが重要
3. 回遊性	<ul style="list-style-type: none"> ・一体的に“面”で活性化していく取り組み ・回遊性向上に向けての必要措置の検討が必要 ・低層部に商業機能を導入することで回遊性の向上が図れる ・都市核周辺エリアと駅前との連携が重要 ・淀川河川公園へのアクセス性の強化 ・歩いて楽しめるルートづくり ・永続的に賑わいを創出していくためには回遊性の向上が必要 ・歩いていろんなものを見て体験して回遊できるようなまち
4. 定住促進・ライフスタイル	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなライフスタイルの提案ができるのかがポイント ・ここにいて自慢できるというまちを目指すことが大切 ・守口の魅力をわかりやすく表現するフレーズが必要。「住んでよし 訪れてよし」 ・地域らしさや地域の生活感が感じられるような体験ができるコンテンツがあることが望ましい
5. 交通・バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーで自転車なども自由に回遊できる環境が必要 ・守口市駅前へのアクセス性の改善が必要 ・西口の再整備、市役所へのアクセス道路の機能向上が必要
6. 産業	<ul style="list-style-type: none"> ・産業、農業、サービス、歴史、医療など様々な分野でアピール ・空きスペース等を活用したサテライトオフィスなどは需要が見込める ・学生やベンチャー企業がチャレンジできる場所
7. 若い世代	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人たちのニーズを満たすことを考えていく必要がある ・子育て支援だけでなく、子ども支援で、「子ども向け施設」が必要 ・子どもたちの遊び場にカフェなどを併設し親同士も交流可能な場所
8. シビックプライド	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場機能集積は市の大きな財産 ・来訪者がまちに魅力を感じるとは、地域にとってはまちの誇りとなる
9. 都市景観・顔づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・駅を出たときの風景はまちの印象を植え付ける非常に重要 ・まずは、街道沿いの街並みを美しくする取組みが有効 ・地下鉄守口駅側に力を入れるべき
10. ゾーニング	<ul style="list-style-type: none"> ・都市核周辺のエリア間のつながりも重要 ・ゾーン分けというよりも全体でどうあるべきかが重要 ・ストーリー性やテーマ性が重要であり、全体でひとつのコンセプトのようなものがあつたほうがわかりやすい

キーワード	主な意見
11. 公共施設・駅前空間	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が来街できるような空間に ・施設間を行き来できるような仕組みづくり ・駅前広場を駐輪場や人中心の空間にあてるべき ・駅前にはゆったりした緑空間も必要 ・駅北側も賑わいを創出することが必要 ・道路休憩施設は、誰もが使いやすい施設となるように
12. 守口市駅西口	<ul style="list-style-type: none"> ・西口には、周辺を含めたエリアの再開発等を考えていく必要がある ・市役所移転が西口周辺の再生に取り組むにはよいタイミング
13. シンボルロード (豊秀松月線)	<ul style="list-style-type: none"> ・道が広がれば歩きやすくなるし、南北がつながることに期待 ・まちを縦につなぎ、歩行者通行空間の創出の観点からも非常に重要
14. 緑・オープンスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりが感じられる遊歩道が連続的に整備されていれば、まちの魅力になる ・有機的にネットワークするグリーンインフラの構築が重要 ・桃町緑道公園の整備活用 ・周辺と一体となったゆとりある空間整備が重要
15. 施設間連携	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で連携してやることで大きな魅力が生まれる ・点で考えるのではなく、他との連携やつながりを意識していくこと
16. 導入機能・跡地活用	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンなカフェがあればよい ・建築物とオープンスペース、ひとを一体で考えて整備を検討すること ・既存の配置にとらわれず、長期的な施設更新も見据えて検討 ・跡地利用については、単体施設ではなく、複合施設がよい ・こどもたちが遊べる場所 ・ついでにいこうと思うような施設 ・若者たちも訪れるような施設 ・時間消費型のついでによりたいと思えるような施設が必要 ・お茶をできる場所として若い世代でも入りやすいカフェ ・ファミリー世代や若い世代も楽しめる多種多様な遊戯施設等
17. 公共施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と民間がうまくタイアップする仕組みや工夫が必要 ・バスロータリーの配置転換や人の広場などの検討も重要 ・公営住宅は今後のあり方や改修方針を考え周辺土地と併せた更新が必要
18. 地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史と新しいまちが融合することが大切 ・当該地域の風格が何から形成されているかを読み解くことが大切 ・歴史資源を学習できる場所として、文化博物館などが文禄堤近くにあるとよい ・若い人や女性も気軽に入れ、楽しめるようなお店などがあればよい ・郷土愛をいかに高めるかという視点で教育が重要 ・淀川という大規模緑地を活用しない手はない
19. 文禄堤・京街道	<ul style="list-style-type: none"> ・文禄堤をどうしていくかがポイント ・まちの成り立ちにも係わる特徴的な要素 ・歴史的資源に気づききっかけをつくること ・街道の今をどう思い、どう活かすかが大切 ・街道の特性上、近隣市町村や府との連携が非常に重要 ・淀川との関係性を見直し、舟運の再生等も併せて取り組むことが大切 ・一定間隔で視線の抜けなど空間整備をすることで魅力的な景観形成が生まれる ・わくわくしながら体験をすることで、まちへの愛着などにつなげていく ・外国人の方にも楽しんでいただける整備や仕掛けづくり ・高低差を生かした利活用が有効（例えば、灯ろうを階段沿いにならべる） ・保全するのであれば、景観条例等の措置など何らかの対策が必要 ・定期的なイベントを実施し、管理運営の仕組みも併せて構築するのが望ましい
20. イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを実施する場所の問題 ・駅前での定期的な催しを継続的に実施していく ・駅前に行けばなにかやっているというイメージをもってもらう ・外からも来てもらう広域の視点からイベント
21. 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・マップを作成するなど、駅周辺の情報を網羅した情報提供が重要 ・外国人向け観光サイトやSNS等の活用 ・資源をいかに再認識し、それを体験できるように発信していくか ・駅をおりてすぐ、もしくは駅で、周辺の案内やPRをするべき
22. 地域協働	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域で地域毎に様々なものを出し、守口としてひとつのものをつくる ・コミュニティ形成が推進されるような場の創出等が必要 ・大規模店舗と商店街などの小規模店舗がうまく共存すること

5 旧市役所跡地周辺導入機能イメージ（案）

※本資料はあくまでもイメージであり、実際とは異なります。

立地評価・課題等

- 交通の利便性が非常に高い
- 近年マンション供給が進み、「住宅都市」のイメージが強くなってきている
- オープンスペースが不足している
- 駅前であるが駅前らしさを感じられない
- 文禄堤などの歴史的資源の活用が課題

導入機能・整備の考え方

- 地下鉄守口駅直結を活かした機能配置
- 地下鉄から地上へ出た際のホスピタリティ空間の整備
- みどり・憩い空間の整備
- 新しいライフスタイルを創出する魅力機能の導入
- 文禄堤方面へのまちの広がりを意識した敷地計画

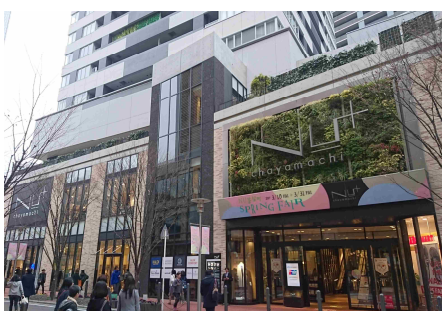
【目標】

守口都市核の新たな顔として、駅直結を活かした都市機能の導入、ゆとりあるオープンスペースを確保し、便利で快適な暮らしを実現する「新都市生活創出ゾーン」の拠点的形成する

	駅チカ居住	都市利便	おもてなし	憩い	交通利便
導入機能のイメージ（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・駅直結型の中高層住居 ・駅前託児所 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市型スーパー ・飲食店 ・大型書店、CDショップ ・駅直結ホテル 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンカフェ ・サンクンガーデン ・多目的広場 	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場 ・緑陰空間 ・スパ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄守口駅前広場 ・地下駐車場 ・地下駐輪場



駅に接続するサンクンガーデンのイメージ



新しいライフスタイルを創出する魅力的な都市利便施設導入のイメージ

